

# 創徳中学校通信



## 「愛」の反対は・・・？

4月は「いじめ防止強化月間」です。この期間は鈴鹿市だけでなく全国各地で「ピンクシャツ運動」が行われています。なぜ、このような運動が推進されるようになったのでしょうか。

考えればわかることです。それは、未だいじめがなくならないからです。現代のいじめはSNSなどの普及で中身が複雑化していることに加え、いじめによって自ら命を絶つ事件も後絶ちません。未来への可能性を秘めた若い命が失われることは非常に残念でなりません。一体なぜ「いじめ」はなくならないのでしょうか。

以前、国会議員である麻生太郎氏（第92代内閣総理大臣）がある番組で教育について話をしていました。その中で注1「マザー・テレサ」の「愛の反対は憎悪でも悪でもなく、無関心であること」という言葉を紹介し、この言葉に接して注2「目から鱗が落ちる」ような衝撃を受けたと語っていました。私もこの言葉を聞いて麻生氏と同じ感覚を持ちました。

クラスや部活動で辛い思いをしている人はいませんか。あなたは人の嫌がることをしたり言ったりしていませんか。あなた達は「いじめ」を他人事と思っていないですか。傍観者になっていませんか。

いじめをなくしていくためには大人も含め、多くの人がいじめ問題にアンテナを高くし、関心をもち、見逃さない感覚を持つことが大切です。「無関心」こそが、いじめを助長する原因です。

### 注1【マザー・テレサ】

1910年旧ユーゴスラビア生まれ。12歳には神にささげて生きることを考え、19歳の時には幸福な家庭を捨てて修道女になった。36歳の時、貧しい人の中で一番貧しい人の間で神に仕えるようにとの内なる言葉を聞き、インドのカルカッタのスラム街へ入った。多くの貧しい立場の人に寄り添い、手を差し伸べた。1979年、69歳の時ノーベル平和賞を受賞。87歳で死去。彼女の意思はボランティア活動などを通じて多くの人に受け継がれています。



注2「目から鱗が落ちる」－新たな事実や視点に出会いそれまでの認識が大きく変わることを。

## 4月9日に入学式が行われました

前日から降り続いた雨も午後にはあがり、また桜が満開の中、令和6年度創徳中入学式が行われました。

私の式辞に緊張した面持ちで耳を傾け、時折うなづく新入生の姿は初々しかったです。また、新入生代表の皆さんの不安を抱えながらも中学校生活を頑張ろうという宣誓も素晴らしかったです。壇上で宣誓文を受け取る時「頑張ってるね」と声をかけると「頑張ります」と返してくれました。中学校での出会いを大切に、友情を深め、助け合い、支え合いながら充実した中学校生活を送ってください。

## 対面式を行いました



4月10日(水)1限目に対面式を行いました。1年生と2、3年生との初顔合わせ。式は生徒会長、1年生代表のあいさつに続き、先生紹介、中学校生活の1日の流れと校則の説明に進みました。生徒会執行部が1年生の不安を少しでも和らげてあげようと、①プロジェクターを使い、また劇を交え、分かりやすく、楽しく説明してくれました。そして最後に、生徒会役員から1年生の各クラス代表に「入学おめでとう!」「一緒に頑張ろう!」の思いを込めた②鉢植えが手渡されました。

1年生の皆さん、生徒会長の言う通り、分からないことや不安なことがあれば、先生や先輩に遠慮せず聞いてください。そして、2、3年生の皆さんは優しい気持ちで接してあげてください。よろしくお願いいたします。

※2、3年生の体育館への入場、待機の様子も昨年に引き続き素晴らしかったです。

新入生代表宣誓



クラス発表



4月30日(火)はキッズウィークのため学校は休みです